

夏の沢旅 アルプス編～中央アルプスの沢～

【報告者】H田

【日時】2019年8月4日

【天候】快晴

【参加者】H田ほか 会員外4名（リーダー、Fさん、Kさん、E氏）

《コースタイム》

中央アルプス 正沢川水系幸ノ沢右俣

7:30 福島 B コース登山口→8:06 幸ノ川渡渉地点→12:08 木曾駒ヶ岳七合目避難小屋

→13:50 幸ノ川渡渉地点→14:26 福島 B コース登山口

《 報 告 》

中央アルプス。ずっと行ってみたいと思っていたけれど、未踏の山域。「木曾駒の廃スキー場から詰め上げる沢があるよ。」という魅力的なお誘いにより、行って見た。

木曾駒高原スキー場跡地を過ぎると、数件のペンションが建ち並び、その少し先に「コガラ登山口」と書いた看板を見つけ、駐車した。そこから入渓地点まで、20～30分ほど、砂利舗装された道を歩く。弘田さんの遡行図に「SUV なら奥まで入れる」とあるが、轍が深く所々碎石が流れていて、そこまで入らなくて正解だった。

堰堤をひとつ巻いて入渓すると、黒っぽくラバーのフリクションが良好な岩質で、水量はあまり多くない。リーダーが「中央アルプスを代表する人気の沢らしいよ」というだけあって、自分たち以外にも数パーティー先行するのが見えた。

前半は、大きな滝はないものの、小滝が次々に現れて飽きさせない。その滝のほとんどが登れるので、快調に進む。中盤の滝で、先行パーティーに追いついたが、なかなか進まないのでも右岸を巻いて追い越した。右俣に入ってからすぐだったろうか、風化が進み剥離しやすい岩場や、ラバーに不向きな滑りが出てきた。一番の核心もその辺りで、滝の水流左側、草つきの岩場だったが、掴むと剥がれる細かい岩が多く、浮石も多い。上に行くほど悪くなり、みんなそれなりに石を落とす。ここだけロープを出してもらった。12m 滝は左右どちらからも登れるが、右岸を選んだリーダーは、途中の滑りにやや苦戦。他のメンバーは左岸を選んで吉と出た。

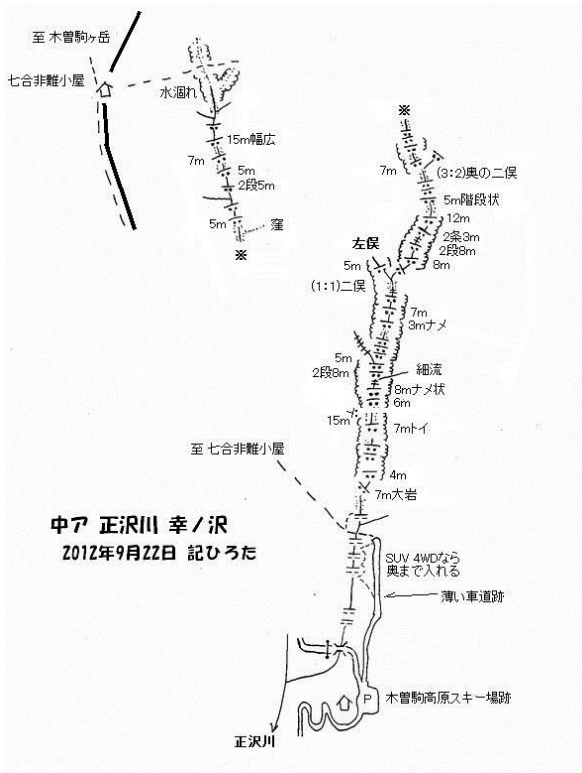
15m 幅広滝を越えた後、遡行図に水涸れとある場所は、今回はずっと流れがあり、その脇のガレを歩いて高度を稼ぐ。傾斜がきつい割に変化がないので、みんな口には出さないけど、途中で飽きてしまった。疲れて足が止まる頃、登山道が横切るところを見つけて遡行終了となった。

その後、15分ほど歩いたところにある七合目避難小屋を経て下山した。七合目避難小屋は、無人だがかなりしっかりした建物だった。下山の登山道は、思いのほか緩く長く、なかなか高度を下げてくれない。けどここは中央アルプス。ゴゼンタチバナ、キバナノヤマオダマキ、カラマツソウ等かわいいお花達に加えて、ベニテングダケ、アシベニイグチ等かわいいきのこ達が出てきて、目を楽しませてくれる。ハナビラタケ(可食・美味)を見つけたので、ゲットした。

入渓地点までのアプローチ、下山路ともに整備された登山道なので歩きやすく、滝の数も多くほとんど登れるのが嬉しい。沢筋も視界が開けていて、ロケーションも良好だった。

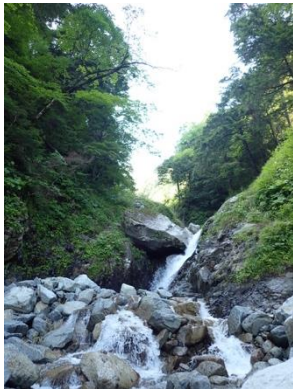
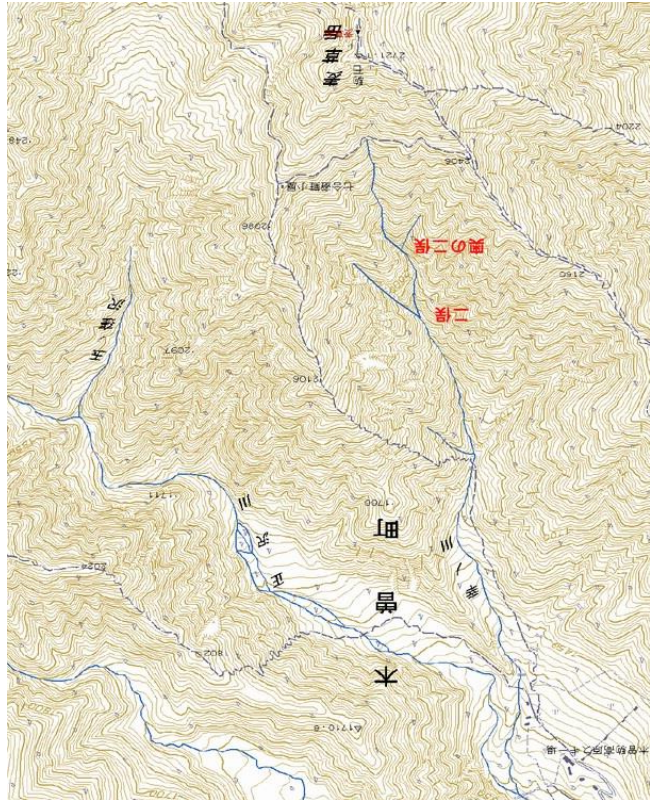
また訪れる機会を設けられるなら、幸ノ沢から七合目避難小屋経由で木曾駒ヶ岳まで登り、宝剣岳を経てロープウェイ側に下山する縦走ルート歩きたい。賛同いただける方おられましたら、来年にでも是非ご一緒にいかがでしょうか。

【遡行図】



弘田さんの HP「その空の下で。。。」より

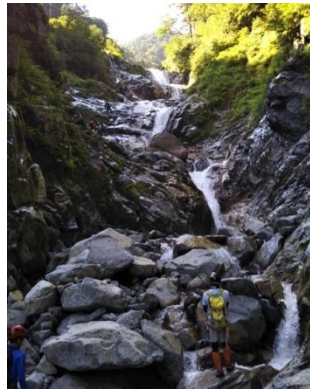
【概念図】



7 m 大岩



7 m トイ



連瀑帯に突入



細流



ハナビラタケ



七合目避難小屋
結構立派な建物です。
ここから木曾駒ヶ岳山
頂までは 4.0km。
今回は下山しました。